

ともに分かり合うために

～よりよいコミュニケーションを目指して～

高等学校・1～3年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「コミュニケーション能力」）

＝【人権感覚育成のための視点】

外国人の居住者との間に発生した問題について、解決方法を考える活動を通して、他者の気持ちや考えを共感しながら受け止め、分かり合えるようにする。

◇関連する個別の人権課題「外国人」

2 関連する教科等について

○総合的な学習（探究）の時間

3 人権教育上の視点

（1）相手の立場を考えて互いに分かり合えるよう、適切なコミュニケーションの手立てを考えることができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

課題について、どのようにして解決するか、個人で考えをまとめる。

○活動2

課題について、三つの解決方法ごとにグループで話し合う。

○活動3

新たなグループで、解決方法ごとにグループで話し合った内容を参考にして、総合的によりよい解決方法を話し合う。

○活動4

各グループで話し合った内容を発表した後、再度個人で考えをまとめ、最初の自分の考えと比較する。最後に、本時の学習を振り返る。

2 準備するもの

○学習資料（グループごとに3種類のうち一つ）

○ワークシート

3 アクティビティーの進め方

○活動1 「課題の把握」

- ① 個人で課題の解決方法を考え、ワークシートにまとめる。

○活動2 「モデルケースについての検討」

- ① グループに分かれ、それぞれ指定された解決方法を確認する。

※グループ構成(例)：全体を6グループ(A～F)に分ける。

- ◇A・D …「市役所に連絡して対応してもらう」解決方法を指定。
- ◇B・E …「ゴミ置き場を共同で使う住民同士で話し合う」解決方法を指定。
- ◇C・F …「自分でゴミ出しのルールを説明しに行く」解決方法を指定。

- ② 各グループで、指定された解決方法について、それぞれ「良い点」「良くない点」を話し合い、ワークシートにまとめる。

○活動3 「総合的な解決方法についての話し合い」

- ① 新たなグループを構成する。

※新たなグループ構成(例) 36人の場合

<p><活動2のグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇Aグループ(A1～A6) ◇Bグループ(B1～B6) ◇Cグループ(C1～C6) ◇Dグループ(D1～D6) ◇Eグループ(E1～E6) ◇Fグループ(F1～F6) 		<p><活動3の新グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> □A1・D1・B1・E1・C1・F1 □A2・D2・B2・E2・C2・F2 □A3・D3・B3・E3・C3・F3 □A4・D4・B4・E4・C4・F4 □A5・D5・B5・E5・C5・F5 □A6・D6・B6・E6・C6・F6
--	--	---

- ② 新たなグループで、活動2で話し合った内容を報告し合う。
- ③ 新たなグループで、課題の解決方法について総合的に話し合う。
- ④ ③の結果をワークシートの様式に合わせてまとめ、全体発表用の原稿を作成する。

○活動4 「各グループによる発表」

- ① グループごとに、活動3で話し合った課題の解決方法を発表する。
- ② 改めて、個人で一番良いと思う課題の解決方法を考える。

○活動5 「振り返り」

- ① 活動1と活動4において個人で考えた解決方法を比較し、どのように変わったのかをワークシートにまとめる。
- ② 本時の学習内容を通して考えたこと、学んだこと、今後に生かしていきたいことをワークシートにまとめる。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- どれが一番良い解決方法かを定めることが目的ではなく、話し合いなどを通して、相手の立場を考えて互いに分かり合うための視点から、適切なコミュニケーションの手段を考えることが目的であることに留意する。
- 外国籍の生徒の有無等、クラスの実態に合わせて実施を検討する。
- 例えば、探究する課題として「国際理解」を設定した学習で実践すると効果的である。

第1章 理論編
 第2章 事例編
 人間の尊厳 価値の尊重 生命尊重 自己尊重の感情 共感と連帯感 公平・公正 多様性の尊重・共生
 コミュニケーション能力
 権利と責任 参加・参画
 第3章 資料編

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	1 課題の把握 T ワークシートの課題について、どのような解決方法があるのか、あなたの考えをワークシートの活動1に記入しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布する。 ・自分の身近でも起こりうる問題としてとらえさせ、活動に取り組む意欲を高める。
35分	2 指定の解決方法についての検討 T 6グループに分かれて、解決方法を検討しましょう。 T 各グループでそれぞれ指定の解決方法について、その「良い点」「問題のある点」を話し合い、ワークシートにまとめましょう。 S 自分でゴミ出しのルールを説明に行くのは、言葉が通じないかもしれないので難しい。 S 住民同士で話し合うのは、全員が自分の問題として考えてくれるので良い方法だ。	<ul style="list-style-type: none"> ・6グループに分け、3種類の解決方法を2グループずつに割り当てる。 ・机間指導を行い、話し合いが進んでいないグループには、「自分が生活習慣や社会ルールが異なる国(土地)で生活することになった状況を想像してみよう」等の言葉掛けを行い、活動を活性化させる。 ・今話し合っている内容を新たなグループで報告することを予告することで、次の活動にスムーズに取り掛かれるようにする。
	3 総合的な解決方法の協議 T 今の各グループから1人ずつ集まり、新グループを作りましょう。 T 新グループで、旧グループで話し合った内容を報告しましょう。 T 報告内容を参考に、グループで課題の解決方法を総合的に改めて話し合い、ワークシートに全体発表用の原稿を作成しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループから1人ずつ機械的に移動して新グループを編成する。 ・適時メモを取りながら報告を聞くよう指示する。 ・解決方法は、指定の3種類の方法から選択してもよいし、グループで新たな方法を考えてもよいことを伝える。
	<全体発表用の原稿の例> 私たちのグループが考えた解決方法は、事前に日本語が理解できるかを確認し、市役所の担当者にも参加してもらってアパートの住民全員で話し合いを行う、です。 この解決方法を選択したのは、ルールが守れない理由として日本語が理解できないことが予想され、通訳を用意しておくと思疎通が容易になるから。また、市役所の担当者に同席してもらうことで、参加した全員が自分の問題として冷静に話し合うことができる、と考えたからです。	

	<p>4 解決方法の共有</p> <p>T 各グループで考えた課題の解決方法を全体で発表しましょう。</p> <p>T 各グループの発表を聞いて、改めて個人で一番良いと思う課題の解決方法を考えてみましょう。</p>	<p>◎一人一人が適切なコミュニケーションの手立てについて考えを深められるよう、改めて個人で考える時間を確保する。(技能)</p>
<p>10分</p>	<p>5 振り返り</p> <p>T 改めて個人で考えた解決方法と最初に活動1で考えた解決方法を比較して、どのように変わったかワークシートにまとめましょう。</p> <p>T 今日の学習を通して、考えたことや学んだこと、今後に生かしていきたいことをワークシートにまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが具体的にどのように変化したかをワークシートにまとめることで、他者とのコミュニケーションによって自分の考えを深めることができることを実感させる。 ・振り返りの内容をまとめたものを後日配布することで、個人の学びを全体に広げる。

IV 資料

(1) 学習資料

〔グループA・Dの解決方法〕
 ゴミ出しのルールを守らない外国人の居住者について、
市役所に連絡して対応してもらおうと思います。

〔グループB・Eの解決方法〕
 ゴミ出しのルールを守らない外国人の居住者について、
ゴミ置き場を共同で使う住民同士で話し合おうと思います。

〔グループC・Fの解決方法〕
 ゴミ出しのルールを守らない外国人の居住者について、
自分でゴミ出しのルールについて説明しに行こうと思います。

(2) ワークシート

()年()組 氏名()

【課題】

同じアパートに住んでいる外国人の居住者は、ゴミ出しのルールを守ってくれません。どのようにしたら解決できるのか考えましょう。

◇活動1：個人で解決方法を考えましょう。

◇活動2：グループで以下の解決方法について考えましょう。

※各グループに配られた学習資料を確認し、以下の _____ に記入しましょう。

〔グループ _____ の解決方法〕：

ゴミ出しのルールを守らない外国人の居住者について、

_____ と思います。

① この解決方法の「良い」点はどのようなことですか。

② この解決方法の「問題のある」点はどのようなことですか。

※ 活動2で話し合った内容を、活動3でそれぞれ報告し合います。

◇活動3：グループで解決方法を考えましょう。

① 活動2の各グループで話し合った内容を報告しましょう。

※報告のはじめに、活動2で指定されていた「解決方法」を発表しましょう。

メモ

- ② ①の報告内容を参考にして、新たにグループとしての解決方法を考え、記入欄の形式に合わせて全体発表用の原稿を作成しましょう。

私たちのグループが考えた解決方法は、

です。

この解決方法を選択したのは、

と考えたからです。

- ◇活動4：改めて自分で一番良いと思う解決方法を書いてみましょう。

- ◇活動5：振り返り

- ① 課題の解決方法について、活動1で考えたものと、今の考えを比較して、どのように変わったかをまとめましょう。

- ② これまでの学習を通して感じたこと、学んだこと、今後の生活に生かしていきたいことをまとめましょう。
